

茶平入門(平27.1.15)

## 世界に広まる日本茶

日本茶輸出額(農水省)  
60→150億円へ!!

静岡県立大学 中村順行

### 国別・品目別輸出戦略

農林水産物・食品の輸出額を  
2020年までに1兆円規模へ拡大

**1兆円**

水産物 3,500億円  
加工食品 5,000億円  
コメ・コメ加工品 600億円  
林産物 250億円  
花き 150億円  
畜産物 250億円  
牛肉 250億円  
茶 150億円

約4,500億円

水産物 1,200億円  
加工食品 1,300億円  
コメ・コメ加工品 1,300億円  
林産物 120億円  
花き 80億円  
畜産物 80億円  
牛肉 50億円  
茶 50億円

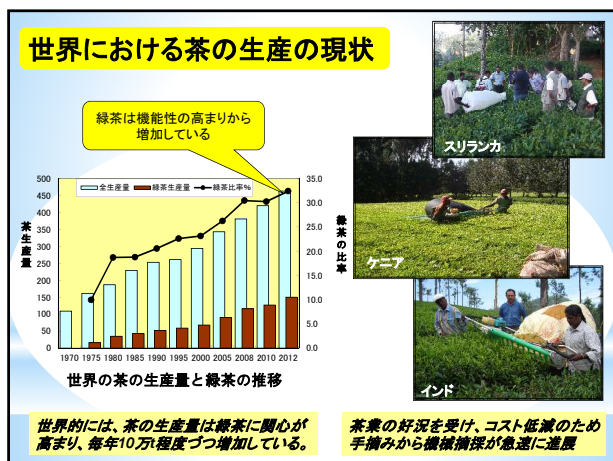
【2012年】

【2020年】

プラン: 輸出戦略の策定  
DO: 輸出に際しての準備  
ACT: 輸出を推進する  
CHECK: 輸出実績の把握  
輸出戦略の策定  
輸出に際しての準備  
輸出を推進する  
輸出実績の把握

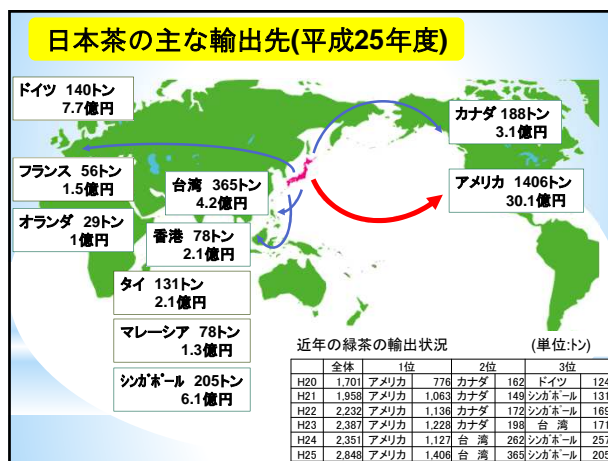
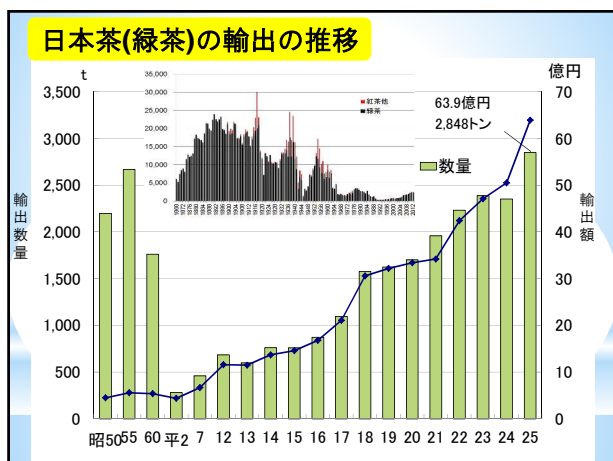
輸出戦略の策定  
輸出に際しての準備  
輸出を推進する  
輸出実績の把握

輸出戦略の策定  
輸出に際しての準備  
輸出を推進する  
輸出実績の把握



### 他国産 日本茶風 緑茶も横行

各種H.Pより引用



○ 農林水産物・食品輸出の方向性 1：重点国・重点品目

➢ 日本「食」への支持を背景に、日本「食」の基軸となる食品・食材を、食市場の拡大が見込まれる国・地域へ輸出することにより、2020年までに1兆円目標を達成。

2020年品目別・国別輸出額イメージ

● 重点品目

- ・水産物
- ・加工食品(かき、醤油、清涼飲料水、菓子類、肉・乳・乳製品、肉類やレトルトカレー等)のコンディメンツ(マヨネーズ)
- ・加工品加工品(包餅米類、日本酒含む)・林産物、花き
- ・畜産物、水産物

● 重点国・地域

- ・新興市場：EU、ロシア、ベトナム、インドネシア、インド、フィリピン、マレーシア、タイの他、中東、中南米、中国、韓国
- ・安定市場：香港、米、台湾、中国、韓国

○ 農林水産物・食品輸出の方向性 2：3Es

➢ 市場の状況に応じ、原産事故の影響の最小化を起点に、①相手が実る認証・基準への対応や輸出のハーモナイゼーションの輸出環境整備(ENVIRONMENT)、②商流の拡大支援(STANDARD)、③商流の拡大支援(EXPAND)の3つのE施策を集中的に実施。

原発事故への対応

START

STEP1 輸出環境の整備

STEP2 商流の確立

STEP3 商流の拡大

①輸入国と輸出国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

②輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

③輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

④輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

⑤輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

⑥輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

⑦輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

⑧輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

⑨輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

⑩輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

⑪輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

⑫輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

⑬輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

⑭輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

⑮輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

⑯輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

⑰輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

⑱輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

⑲輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

⑳輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

㉑輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

㉒輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

㉓輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

㉔輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

㉕輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

㉖輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

㉗輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

㉘輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

㉙輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

㉚輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

㉛輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

㉜輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

㉝輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

㉞輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

㉟輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

㊱輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

㊲輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

㊳輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

㊴輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

㊵輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

㊶輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

㊷輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

㊸輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

㊹輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

㊺輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

㊻輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

㊼輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

㊽輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

㊾輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

㊿輸出国と輸入国の貿易関係が良好で、輸入品・輸出品に国際標準規格が適用されている国・地域に輸出・輸入を促進する

# 現状

- 輸出額は増加傾向にあり、2012年の輸出額(50.5億円)は5年前と比べ約1.5倍。その約半分为米国が占める。
- ドイツ、フランスなど EUでは需要量が減少傾向。
- 世界的な健康志向の高まりから、各国における緑茶の需要が増加してきており、他国産に比べてブランド力がある日本茶が輸出しやすい状況。

## 日本からの緑茶の輸出の推移

輸出額(億円) ×100

2008 2009 2010 2011 2012

日本茶貿易統計より  
(単位:億円)

## 米国の緑茶の輸入額の推移

2008 2009 2010 2011 2012

米国茶貿易統計より  
(単位:億円)

## 2012年の輸出額の国別割合

2012年  
50.5億円

国別割合

46% 12% 9% 5% 5% 15%

米国  
中国  
フランス  
ドイツ  
カナダ  
その他

(資料:茶葉貿易統計より  
最新発表分)

## 各国の緑茶の輸入額の推移

2008 2009 2010 2011 2012

米国茶貿易統計より  
(単位:億円)

## 国内のお茶の消費量(各々年間の平均)

2012年(1-12月)  
2011年(1-12月)  
2010年(1-12月)

2008 2009 2010 2011 2012

日本茶貿易統計より  
(単位:グラム/人/年)

## 計

	数量 トン	数量 %100	金額 100万円	金額 %100
①中国	13,570	69.8	44,310	39.3
②日本	1,413	7.3	31,164	27.2
③カナダ	337	1.7	10,524	9.3
④ドイツ	701	3.6	46,629	4.6
⑤インド	606	3.1	3,512	3.8
⑥アメリカ	318	0.8	33,053	23.2
⑦フランス	356	1.8	2,851	3.8
⑧台湾	327	1.7	2,536	2.7
⑨イギリス	119	0.6	1,287	1.9
⑩フランス	21	0.1	666	1.1
その他	1820	9.4	9,064	8.9
計	19,434	100.0	113,928	100.0

(出典:茶葉貿易統計(日本茶業中央会))

(出典:Global Trade Atlas)

### 3 2020年目標と対策

**【重点国】**

- ・新興市場: ロシア、EU
- ・安定市場: 米連、香港、台湾、シンガポール

**【方向性】**

- ・茶器や和菓子等、日本食・食文化とセットにした売り込み

**2012年の茶の輸出額 50.5 億円**

➡

**2020年の茶の輸出額 150 億円**

国	方向性とマーケティング	輸出促進施策	
<b>新興市場</b>	EU	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中東産茶とヨーロッパとを区別</li> <li>・欧州産茶の品質と対した商品の開発 (「プレミアムティー」)</li> <li>・日本の茶葉を主PR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費意識高への対応</li> <li>・(欧州産茶)と対した生産体制構築、相平度でのインポート・リクス設定など</li> <li>・農産物等による放射性物質に関する輸入規制への対応</li> </ul>
	ロシア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本産の緑茶に合った商品の開発</li> <li>・400円以下に抑えられ高級緑茶市場の取込み</li> <li>・2008年の自国からの輸出額200億円</li> </ul>	
<b>安定市場</b>	米連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本産のプレミアムと中級産茶を分けて向</li> <li>・消費者の持つ、緑茶でなくてはならない価値を打ち</li> <li>・日本の茶葉に合った商品の開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者等性の承認の取得</li> <li>・食品安全法に起因する生産体制構築への対応</li> </ul>
	シンガポール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中東産茶とヨーロッパとに新規需要層の開拓</li> <li>・日本産茶の品質と対した商品の開発</li> <li>・日本産茶と対して、日本産茶と区別</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物等による放射性物質に関する輸入規制への対応</li> </ul>
	台湾	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中東産茶とヨーロッパとに新規需要層の開拓</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費意識高への対応</li> </ul>
	香港		

**【生産サイドの対応方向】**

- ・茶葉香気茶(香味を特った緑茶)などの輸出に対応した茶栽培技術、加工技術の確立、病虫害に強い品種の開発
- ・茶葉の品質の確保
- ・健康成分富含有品種の開発・普及(カテキン等)
- ・製造等による茶葉中の放射性セシウム低減の徹底
- ・輸出に利用するの食品衛生管理施設に「対した」基準に合った生産体制の確立

2012年      2020年

**3**



## \*健康ブームで緑茶が人気に

\*1991年に静岡市内で国際茶研究シンポジウムを開催し、以後、現在に至るまで継続して国内外で緑茶の効能をPRしてきた。

日本では：日本茶＝緑茶  
世界では：緑茶＝中国茶  
(中国本土では烏龍茶=日本茶)

- \*がん予防
- \*血中コレステロールの低下
- \*体脂肪低下作用
- \*抗酸化作用
- \*虫歯予防
- \*抗菌作用
- \*血圧上昇抑制作用
- \*血糖上昇抑制作用
- \*消臭作用

## \*日本茶文化の海外進出は60年前

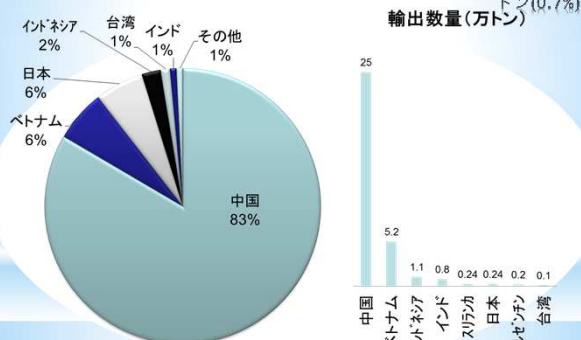


\*「一碗からピースフルネスを」をテーマに15世千宗室（鵬雲斎玄室大宗匠）が平和の尊さを茶道の精神をもって訴える活動をハワイを皮切りに世界中で行い、茶道は日本文化を代表するものになった。

## \*世界の緑茶生産数量と輸出数量

2012年 約150万トン(8.5万トン)

約33万  
トン(0.7%)



## \*海外での日本茶は

- \*がんに効くらしい。
- \*歴史ある優れた、茶文化を持っている。
- \*本当に緑色の緑茶。
- \*苦くて渋い。
- \*農業に汚染されている。
- \*放射能に汚染されている。

スタバの傘下に入った量販型茶専門店 と サンフランシスコの高級茶専門店



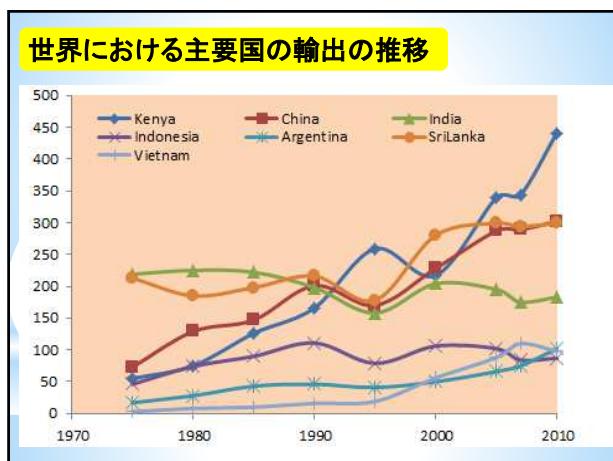
抹茶はさすがに量り売りできないので、チャック付の袋入りで販売



2012/09/15 03:34



日本をイメージしている商品は多いが、残念ながら日本産の茶は売られていない。





## 海外では緑茶が好況

各種H.Pより引用



ハワイの日本茶販売店舗



伊藤園「お〜いお茶HPより引用」



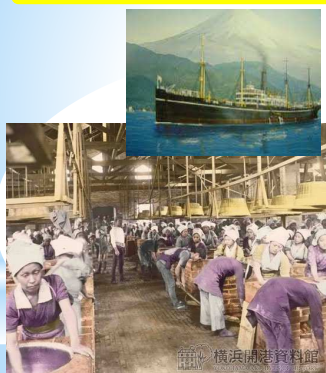
オーストラリアの茶店

## 他国産 日本茶風 緑茶も横行

各種H.Pより引用



## 静岡茶は輸出により飛躍的に茶業が活性化



\* 明治の末に清水港開港により、静岡が茶の集散地となる

\* 植民地を持たないアメリカ向け茶産地として静岡県の牧の原台地が開拓され戦争で疲弊していた中国に代わって、日本が茶産地として発展した。

\* 輸向向けの茶は神戸・横浜で、中国人の指導により中国緑茶のコピー商品として再製された後に輸出された。

## 輸出により紅茶生産開始

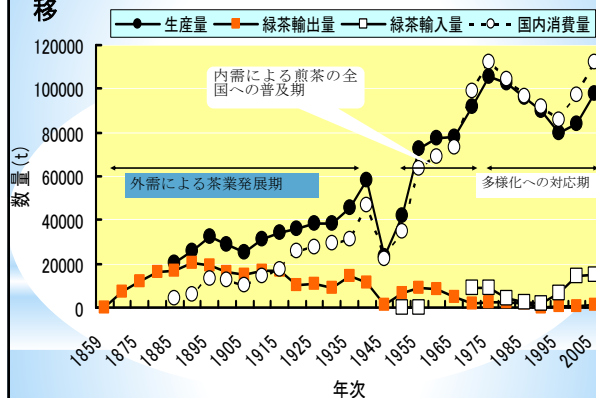


明治初期の茶の種類別輸出入量(t)

年次	緑茶	紅茶	磚茶
明治1～5年	7,122		
6～10年	11,273		
11～15年	16,410		
16～20年	18,644	27	14
21～25年	21,395	45	12
26～30年	21,181	35	55
31～35年	18,651	512	337
36～38年	15,577	251	151

大蔵省外国貿易年表

## 日本における茶の生産と輸出入の推移










### 低カフェイン茶製造法


**熱湯浸漬法**

1990年代に開発



**熱水シャワー方式**

山本(前田)らにより2000年代に開発



効率・安定化

茶生葉をステンレス製のネット上にのせ送带式蒸機と同様に移動させ、蒸気の代わりに熱水をシャワーする方法

**利点**

- ・熱水シャワーの温度、熱水量が制御しやすく安定的
- ・熱水を濾過循環するため

課題

に汚れにくい

### 残留農薬

国内生産茶(150サンプル)における不適合検体数の多い農薬

商品名	成分名	基準値・許容値			農業検査回数	最大値	不適合検体数	
		日本	EU	US			EU	US
スプラサイド	Methidathion	1	0.1	0.5	1	0.03	0	1
モスピラン	Acetamiprid	30	0.05	50	2	14	0.44	7
コソバ	Chlorfenvinphos	40	50	0.01	2	87	2	0
サメコ	chlorantraniliprole	50	0.02	50	2	7	0.22	7
タング	Clothianidin	50	0.7	70	5	30	0.85	3
アバダシン	Cypermethrin	20	0.5	2	9	0.28	0	9
スフ	Difenoconazole	10	0.05	5	10	0.2	5	0
ディノテフレン	Dinotefuran	25	0.01	50	10	20	2.1	12
インナー	Fenbuconazole	10	0.05	5	18	0.51	11	18
クラ	Flonicamid	40	0.05	5	8	0.42	8	0
フェニックス	Flufenoxuron	10	0.02	15	32	0.02	0	32
スプラサイド	Flufenoxuron	10	0.02	5	23	0.71	18	23
マツ	Methoxyfenozide	20	0.05	10	15	0.29	8	15
アバダシン	Permethrin-methyl	10	0.05	0.05	14	0.11	6	14
オンリーワン	Tebuconazole	80	0.05	10	38	1.1	30	38
ハチハチ	Thiacloprid	30	10	24	1.4	0	24	24
アバダシン	Thiamethoxam	20	20	20	1	0.33	0	0
スプラサイド	Tolfenpyrad	20	0.01	30	10	20	0.5	18

供試農薬と散布実績

薬剤名	型	使用濃度	使用量 L	収穫前日数	散布日	収穫日
スプラサイド	乳剤	1000	200	14	9月13日	9月30日
ハチハチ	乳剤	1000	200	14	9月13日	9月30日
カスケード	乳剤	4000	200	7	9月20日	9月30日
アクテリック	乳剤	1000	200	7	9月20日	9月30日
オンリーワン	フロアブル	2000	200	7	9月20日	9月30日
コテツ	フロアブル	2000	200	7	9月20日	9月30日
フェニックス	フロアブル	2000	200	7	9月20日	9月30日

供試品種  
やぶきた  
樹齢  
約35年生  
畝巾  
1.8m  
散布方法  
手掛け噴霧器

### 残留農薬

試験区

分析条件  
株式会社エコプロ・リサーチ  
QuEChERS法 (Quick, Easy, Cheap, Effective, Rugged, Safeの頭文字をとって名付けられた)。簡単に使いやすい分散型固相抽出 (d-SPE) による試料前処理法

※フェニックスはGC、他はLCにより分析

対照：摘採後の茶葉  
水洗：摘採後の茶葉を水道水で洗浄処理  
蒸熱80秒：送带式蒸機による普通蒸し  
熱水シャワー80秒：熱水温度95℃、80秒

商品名	薬剤名(一般名)	対照 (ppm)	(%)	水洗(%)	蒸熱80秒 (%)	熱水シャワー80秒 (%)
コテツ	クロルフェナピル	0.95	100	86	98	84
オンリーワン	テブコナゾール	2.00	100	75	85	46
ハチハチ	トルフェンピラド	5.30	100	75	83	64
アクテリック	ピリミホスメチル	0.30	100	87	93	80
カスケード	フルフェノクスロン	0.32	100	66	63	63
フェニックス※	フルベンジアミド	4.10	100	51	98	54
スプラサイド	メチダチオン	0.67	100	75	94	34

試験期間中の降水量：9月18日-5.0mm、24日-17.5mm、25日-81.0mm

### 残留農薬

分析法として  
全量抽出法と熱水浸出液抽出法が議論に上っている

表3 使用薬剤と熱湯抽出法による残留程度

商品名	薬剤名	対照	シャワー280秒	対照との比率	蒸熱80秒	対照との比率
オンリーワン	テブコナゾール	1.10	0.30	27	0.92	84
フェニックス	フルベンジアミド	1.10	0.30	27	0.76	69
スプラサイド	メチダチオン	0.59	0.06	10	0.42	71

表4 全量抽出法と熱湯抽出法による残留程度の相違

商品名	薬剤名	全量抽出法	熱水抽出法	比率
オンリーワン	テブコナゾール	2.00	1.10	55
フェニックス	フルベンジアミド	4.10	1.10	27
スプラサイド	メチダチオン	0.67	0.59	88